

製品名: アデノシン A1-R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06621**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	ADORA1
別名	ADORA1; Adenosine receptor A1
遺伝子 ID	134.0
SwissProt ID	P30542
免疫原	抗血清はヒト ADORA1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 277-326

背景

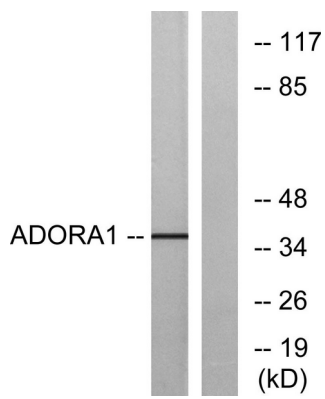
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属するアデノシン受容体です。アデノシン受容体には 3 種類あり、それぞれが特異的なリガンド結合パターンと組織分布を有し、それらが相乗的に作用して多様な生理機能を

調節しています。A1 型受容体はアデニル酸シクラーゼを阻害し、受精過程において役割を果たします。動物実験では、A1 受容体が腎機能やエタノール中毒にも関与していることが示唆されています。この遺伝子には、5' UTR に選択的スプライシングを伴う転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: アデノシン受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを阻害する G タンパク質によって媒介されます。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



ADORA1 抗体を用いた MCF-7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。